



トマトの実がつき始めました。
6月下旬頃にお届けできると思います。

お届けの野菜 ○大根○マザーグリーン○坊主知らずネギ
 ○里芋○小松菜○その他

簡単レシピ ☆レタスたっぷりスープ

レタスをそんなに沢山食べれないな～と 言う方におすすめです。

＜材料＞水 400cc、粉末ガラスープの素 小さじ2、卵 1個、レタス 好きなだけ、＜作り方＞鍋に水、
ガラスープの素、沸騰したら溶き卵入れて火を止め ちぎった レタスを入れるだけ。

朝の忙しい時間にもチャチャッと出来ます。リーフレタスを煮込まないのでシャキシャキ感も味わえて美味しいです。

(みんなのおうちGOHANより)

作業日誌 おおまき落花生の種まき、葱苗植え、里芋の種芋を植える、小松菜とサラダ関係の種まき、トマトを支えるひもをとりつけてトマトを巻きつける、トマトの芽欠き、きゅうりの定植、草取り、耕運など。

野菜ともだちの声

☆905号の「野菜通信」の巻紙の書、何て素晴らしいんでしょう。お書きになった先生の温かいお人柄が出ていて思わず見入ってしまいました。有難うございました◎ (磯さん)

☆こんにちは。筍が大好きな主人は今年は沢山食べられたと喜んでおりました。(千恵さん)

5月の絵本 紹介してくださるのは、市川市立国府台小学校、第一中学校、国府台病院院内学級で読み語りをしている「赤とんぼ」の細井さんです。

「セルコ」 (ウクライナの昔話 内田莉莎子/文 ワレンティン・ゴルディチューク/絵 福音館書店2001年)



セルコはお百姓一家の飼犬です。年老いても役に立たないからと追い出され、嘆いていると・・・友だちのオオカミが、お宅の赤ん坊を盗むふりをするから、セルコお前さんが、ご主人様の前で、自分から赤ん坊を取り返してみせてごらんよ、きっとまた大切にしてもらえると。そのアイデアは大成功！セルコはぜひオオカミにお礼をしたいと、婚礼のお祝いのごちそうの席にオオカミをこっそり招き入れます。ところが・・・ハラハラしますが、ハッピーエンドに。義理堅い犬と友だちおもしろいオオカミの友情に、日本の「泣いた赤おに」を思い出しますが、このウクライナのお話はカラッと明るく、ユーモラスで力強さを感じます。

麦の収穫の季節、彩り鮮やかな野菜や果物などのウクライナの大地の恵み、民族色豊かな衣装や、人々や動物も生き生きと表情豊かなこと！息子が小さい頃、楽しく読んでいた絵本でしたが、ふとウクライナのお話だったなと思い出し、読み直しました。人々が故郷の土地で、昔話を子どもたちに伝えられるような生活が取り戻せますように。

＊ 細井さんから本を預かっていますので、声をかけてくださいね。(荒木)

5/19 (木) 坊主知らずネギ・かぶ・レタス等

—苦手の野菜や傷みがあって取り替えて欲しい野菜がありましたらご連絡いただけると助かります。—